

NEWS RELEASE

2023年10月5日

No. 20231005

～超小型人工衛星「TIRSAT」の H3 試験機2号機での打上げ決定～

セーレン株式会社(福井本社:福井県福井市、東京本社:東京都港区南青山/代表取締役会長 川田達男)は、経済産業省の委託事業「令和2年度補正 サプライチェーン強靱化に資する技術開発・実証事業(サプライチェーンの迅速・柔軟な組換えに資する衛星を活用した状況把握システムの開発・実証)」において、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構のとりまとめのもと、福井大学、東京大学の協力を得て、当社が開発した3Uサイズのキューブサット「TIRSAT」が、日本の新型基幹ロケット「H3ロケット」試験機2号機(H3TF2)に搭載され、打上げられることが2023年6月27日の文部科学省 宇宙開発利用部会で報告されました。現在、H3TF2 の打上げ成功に向けて、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」)、経済産業省をはじめ、関係省庁、関係機関と連携し、準備を進めています。

TIRSAT には、株式会社ビジョンセンシングが開発した非冷却小型熱赤外センサが搭載されており、打上げ後、株式会社アークエッジ・スペース、福井大学と協力し、当社が人工衛星の運用を行う予定です。

当社は、今回の経験を生かし、今後も引き続き超小型衛星製造分野における技術開発と事業拡大に取り組んでまいります。

【「令和2年度補正サプライチェーン強靱化に資する技術開発・実証事業(サプライチェーンの迅速・柔軟な組換えに資する衛星を活用した状況把握システムの開発・実証)」について】

経済産業省の委託事業。衛星データを活用したサプライチェーンの状況を把握するシステムやアプリケーションを開発するための環境構築、システム・アプリケーション等の有用性や信頼性を評価する評価手法の開発を行います。本事業において、当社は、衛星データを収集するための人工衛星の開発を担当しました。

【TIRSAT について】

経済産業省の委託事業「令和2年度補正サプライチェーン強靱化に資する技術開発・実証事業(サプライチェーンの迅速・柔軟な組換えに資する衛星を活用した状況把握システムの開発・実証)」において開発済みの人工衛星であり、ロシア・ウクライナ紛争により打上げ機会が確保できず事業が中断していました。

本衛星は、超小型人工衛星の一種で、3U サイズはおよそ 10×10×30 センチメートルの大きさ、非冷却小型熱赤外センサが搭載され、地表の熱の変化を測る熱赤外(Thermal InfraRed)を観測することができます。このため大量の熱を放射する製鉄所の稼働を調査するなど、経済活動のモニタリングに関する応用が広がっています。



(C)宇宙航空研究開発機構(JAXA)

TIRSAT



非冷却小型熱赤外センサを搭載
(波長8-14 μm /10.5-12 μm を選択可)

報道関係の方からのお問い合わせ先
福井本社 TEL 0776-35-2113

セーレン株式会社 総務部 広報担当
東京本社 TEL 03-5411-3411